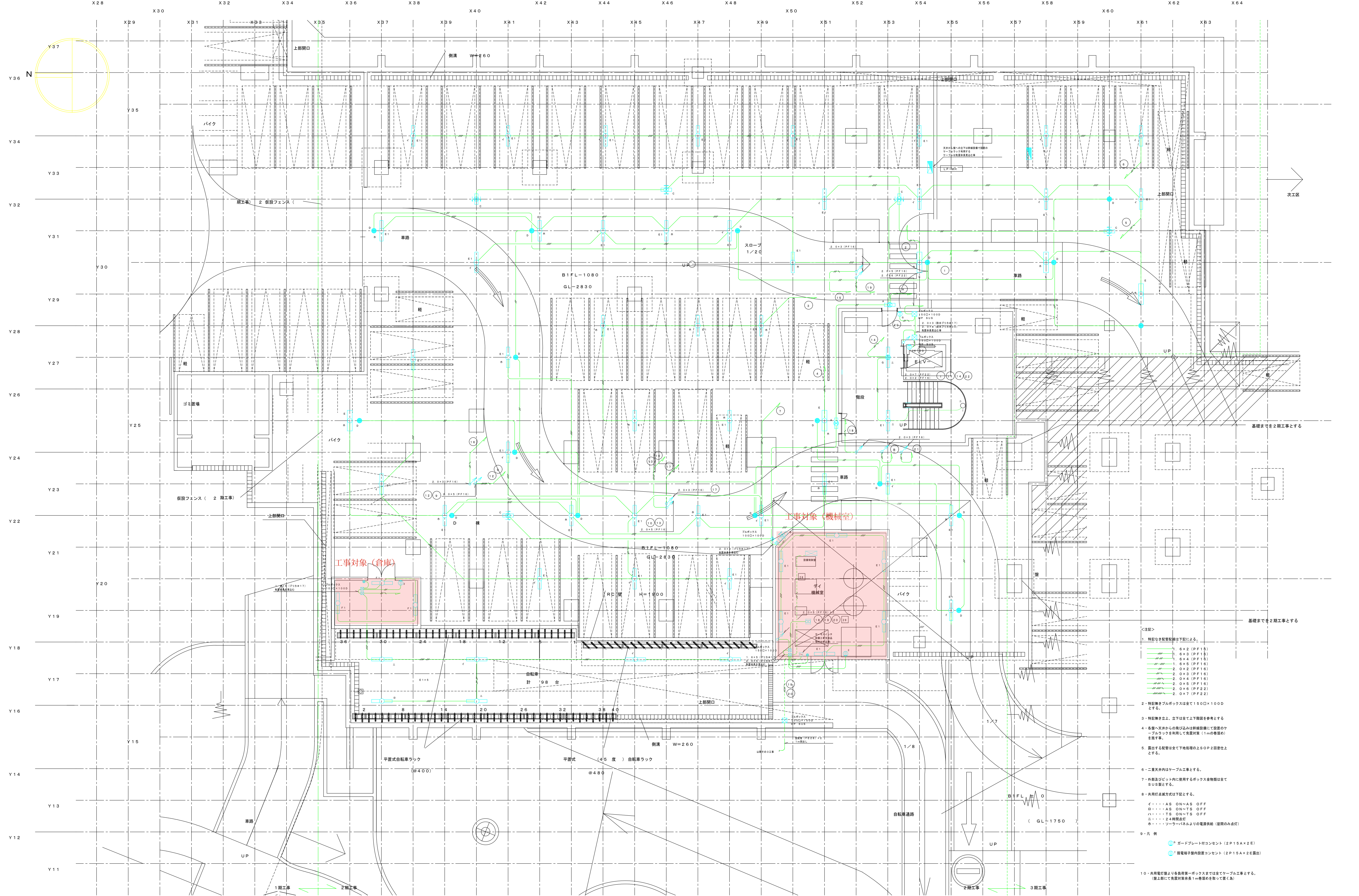




- <注記>
1. 特記なき配管配線は下記による。
 - 1. 6×2 (PF16)
 - 1. 6×3 (PF16)
 - 1. 6×4 (PF16)
 - 1. 6×5 (PF16)
 - 2. 0×2 (PF16)
 - 2. 0×3 (PF16)
 - 2. 0×4 (PF16)
 - 2. 0×5 (PF16)
 - 2. 0×6 (PF22)
 - 2. 0×7 (PF22)
 2. 特記ケーブルボックスは全て1500□×1000とする。
 3. 特記無き立上、立下は全て上下両面を参考とする。
 4. 各壁へ天井からの飛び込みは断縁設備にて設置のケーブルラックを利用して配管対策 (1mの巻留め) を実施する。
 5. 露出する配管は全て下地材の直上SOP2回巻仕とする。
 6. 二重天井内はケーブル工事とする。
 7. 外廊及びビロリ内に使用するボックス食物類は全てSUS製とする。
 8. 共用灯点滅方式は下記とする。
 - イ・・・AS ON～AS OFF
 - ロ・・・AS ON～TS OFF
 - ハ・・・TS ON～TS OFF
 - ニ・・・24時間点灯
 - ホ・・・ソーラーパネルよりの電源供給 (昼間のみ点灯)
 9. 凡 例
 - ① ガードプレート付コンセント (2P15A×2E)
 - ② 筒電磁子室内設置コンセント (2P15A×2E露出)
 10. 共用電灯より各負荷第一ボックスまでは全てケーブル工事とする。
(露上部にて洗面対策長さ1m巻留めを取って置く)